

第1回桜町・花畑周辺地区まちづくりマネジメント検討委員会

会議資料

～基本計画の構成・検討内容、並びにスケジュールについて～

平成24年7月2日

	基本構想 (H23)	基本計画 (H24~H25)	H24			H25
			第1回 7月	第2回 10~11月頃	第3回 2月頃	
まちづくり ビジョン	歴史的経緯や担うべき役割を踏まえ、次の4つを『目指すべき姿』とした ① 花畑屋敷など歴史・土地の記憶を継承する空間 ② お城への眺望を活かしたハレの場・おもてなしの空間 ③ 日常的に集える水や緑豊かな空間 ④ 交通センターという熊本最大の「駅前」という特性を活かした空間					
デザイン コンセプト	熊本城と庭つづき 『まちの大広間』 基本理念 (デザイン面) 熊本城につながる大広間としてのゆるやかな全体性と様々な場面を創り出す多様性の両立 (利活用面) 車中心から人中心の考え方に転換し、シンボルロードからシンボルプロムナードへの変化に官民協働で取り組み、活力を創造					
空間・景観 デザイン	・基本的な考え方 ①歴史・土地の記憶を継承した和の精神に基づく空間・場の形成 ②熊本城と一体となったハレの場としての秩序と多様性のある空間景観の形成 ③市民の心の拠り所となる居心地の良いたまり空間の形成 ④交通センターを結節点としてまちをつなぎ回遊を促す“かすがい”の形成 ・SP周辺を含めた関連エリアの建物の規制誘導の考え方 一定の統一感を確保しつつ詳細は事業者の創意工夫を促すという観点から規制誘導に強弱をつけて担保する	具現化	■ 規制誘導項目についての検討 ① 眺望点の設定 ⑤ 広場の使い方 ② 壁面の位置 ⑥ 緑化 ③ 低層部用途 ⑦ …… ④ 壁面のデザイン ⑧ …… ……基本構想(P24~25)、 同参考資料(P41~49) ⇒上記の担保方策 (地区計画・ガイドライン等)について	資料4 P2~3参照		
	・花畑公園・辛島公園の再整備の考え方基本的な考え方 花畑公園：かつて花畑屋敷であった土地の記憶を継承する 辛島公園：回遊の起点として利用しやすい空間の形成を図る		■シンボルプロムナード整備イメージ ■花畑公園・辛島公園の再整備(案)			
空間 利活用	・空間利用の基本的な考え方 ①公有地と民有地を一体的に利活用する ②多様なアクティビティを対象とする ・シンボルプロムナードの位置づけと使い方 ①条例に基づく広場として位置づける ②色々な空間の使い方に対応が可能な自由度の高い空間とする		■ 多様なアクティビティの検討 } 資料4 P6参照 ■ 利活用の仕組みづくりの検討 ⇒上記の担保方策(利活用ガイドライン)について			
管理運営	・将来の管理運営の考え方 ①管理運営は官と民が協働して一体的に実施 ②地域(市民、事業者等)が新しい公共としての役割を担う仕組みを検討		■ 管理運営の方針 ■ 持続可能な運営の仕組み ⇒上記の担保方策(管理運営ガイドライン、 広場条例)について			
周知・PI (事業者・関係 団体・市民)			■「基本構想」の広報・周知、機運醸成 事業者、関係団体、市民意見の取り込み ◆オープンハウス ◆グループヒアリング ◆キーパーソンインタビュー			